

図書館だより

2020年8月25日発行

目次

- 表紙 … かつて、郷土の水害のために尽力した大川平三郎、現代の豪雨災害
- P 1 … 大川平三郎と渋沢栄一、坂戸市立図書館所蔵の大川平三郎関係資料、大川平三郎の伝記類
- P 2 … 坂戸市子ども読書活動推進計画（第4次）策定に向けて
- P 3 … 休館中の図書館で実施していたこと、令和2年度の図書館施設の修繕について
- P 4～7 … 夏のおすすめ本 児童～一般向け 折り込み…あたらしい本 第200号(こども版)

かつて、郷土の水害のために尽力した大川平三郎

(万延元年10月～昭和11年12月)

川越藩横沼村（後の三芳野村・現在の坂戸市）で生まれた大川平三郎は、実業家渋沢栄一の甥にあたり、王子製紙に入社し、製紙原料をポロ布から稲わらに替えてその大量生産に成功しました。その後、九州製紙、中央製紙、樺太工業など製紙会社を創業し、製紙業を母体としてセメント・化学・電力・製鋼・金融等々、80有余に及び多くの事業に力を注ぎました。

当時、水害等で疲弊にあえいでいた三芳野村のために小畔川に堤防を築くとともに産業の振興や三芳野小学校の増新築・校庭の拡張に巨額を投じるなど、同村の発展に多大な貢献をしました。



堤防を視察する平三郎

現代の豪雨災害

令和元年10月、猛烈な勢力に発達し日本に上陸した台風第19号は、関東地方や甲信地方、東北地方に甚大な被害をもたらしました。

坂戸市では、避難勧告や避難指示（緊急）を発令、その後、越辺川右岸（川越市平塚新田地先）の堤防が決壊し、広範囲で冠水、市内各地区に浸水被害が発生しました。

歴史から学び、未来の災害に備えることが必要です。

広報さかど令和元年12月号

第199号 臨時号

坂戸市立図書館

電話 049-281-6369

大川平三郎とは・・・

大川平三郎と渋沢栄一

実業家である渋沢栄一は、平三郎の叔父であり、四女照子を妻にしているのが義父でもありました。平三郎が実業界で大活躍できたのは、渋沢が甥の能力を見抜き、支援したお蔭であり、大恩人といえます。

渋沢は、日本を代表する実業家で、経営に関わった企業は第一国立銀行を始め500社以上、福祉・教育などの社会事業は600以上と言われ、「道德経済合一説」を唱え、明治時代、近代化の礎を築いた人物でした。晩年は民間外交にも力を注ぎ、ノーベル平和賞の候補にも2度選ばれています。

2021年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」は、日本資本主義の父・渋沢栄一を描くものです。

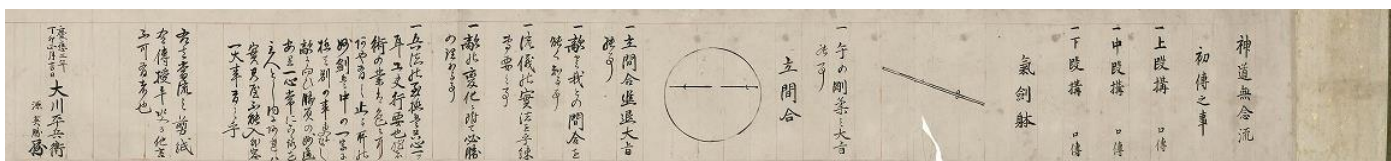


実業家 渋沢栄一

坂戸市立図書館所蔵の大川平三郎関係資料

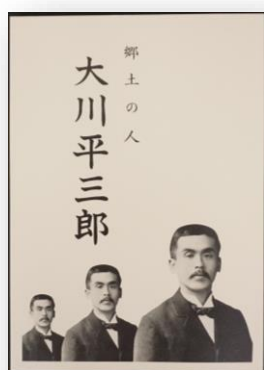
当館では、平三郎の関係資料の収集を進め、昭和59年7月中央図書館のオープンに合わせ、「大川平三郎の世界」を見ていただくために、郷土資料展示コーナーを開設しました。現在も、中央図書館2階にて、関係者から寄贈された所蔵資料を中心に、展示を行っています。

渋沢栄一宛の手紙（複写）や大隈重信からの手紙などを所蔵しているほか、最近市内の齋藤家で発見された平三郎の祖父である大川平兵衛の神道無念流免許状も寄贈され、所蔵しています。



大川平兵衛の神道無念流免許状

大川平三郎の伝記類



郷土の人 大川平三郎
(坂戸市立図書館発行)



郷土さかどの偉人 大川平三郎
(坂戸市立図書館発行)

当館には、平三郎の関連書籍や冊子などが数多く所蔵されています。

中央図書館2階では、当館発行の平三郎の伝記類を購入することができます。

【坂戸市子ども読書活動推進計画(第4次)策定に向けて】

・坂戸市子ども読書活動推進計画について

「子どもの読書活動の推進に関する法律」では、「子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである」と基本理念を示しています。そのために国の責務、地方公共団体の責務、事業者の努力、保護者の役割などを定めています。

読書により子どもたちは、広い世界を知り、発見や感動を体験し、自ら考える習慣や豊かな感性、思いやりの心などを身に付けることができます。

子どもたちが本との出会いを体験し、人生において本と長く親しんでいくためには、子どもの発達段階に応じた支援が必要であり、自ら進んで読書活動に取り組めるよう、社会全体でこれを支え、環境の整備に努めていくことが求められます。

坂戸市では、国・埼玉県の動向を受け、子どもの読書活動を推進するため、平成18年に「坂戸市子ども読書活動推進計画（平成18年度～平成22年度）」を策定し、地域における様々な施策を行ってきました。その後、第2次及び第3次「坂戸市子ども読書活動推進計画」を策定し、今年度は第3次「坂戸市子ども読書活動推進計画（平成28年度～令和2年度）」の最終年度となっています。

第3次「坂戸市子ども読書活動推進計画」は、前述の「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づく計画で、坂戸市における5年間の子どもの読書活動の推進に関する施策の方向性と取組みの体系を示すものです。

本計画の目標として次の内容が明記されています。

- (1) 家庭・地域、学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実
- (2) 子どもの読書活動を推進するための環境の整備・充実
- (3) 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進
- (4) 子どもの読書に親しむための推進体制の整備

坂戸市立図書館ホームページに、本計画が掲載されていますので、ぜひご覧ください。

https://www.library.city.sakado.lg.jp/active/docs/dokusho_3.pdf

第4次「坂戸市子ども読書活動推進計画」策定に向け、関係機関と連携を図ること、現状と課題を把握することができるようにするために、坂戸市立図書館としてなすべきことを見出し、進めていきます。

令和2年度中に、第4次「坂戸市子ども読書活動推進計画」の策定を予定しています。





図書館休館中は、ご不便をおかけしました

坂戸市立図書館は、令和2年3月4日～令和2年6月30日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館となりました。（令和2年3月2日から年度末の特別整理期間のため休館が開始されていました。）

【休館中の図書館で実施していたこと】

休館中の図書館では、次の作業や事業を実施しました。

- (1) 除籍作業…令和2年4月に、大家分館・勝呂分館・城山公民館図書室の図書の入替え作業（主に小説など）を行いました。これにあわせ、資料の除籍を行いました。除籍冊点数は、3,881冊点でした。
- (2) 蔵書点検…令和2年5月7日～令和2年5月15日まで、中央館および各分館にて行いました。これは、令和2年度の蔵書点検の予定を前倒しして行ったものです。
- (3) 予約資料の郵送貸出…令和2年5月20日から予約資料の郵送貸出しを行いました。5月20日から7月31日までの貸出人数（合計）は、1,764人、発送冊点数（合計）は3,917冊点（図書3,785冊、AV132点）でした。

※予約資料の郵送貸出は、令和2年7月31日に終了しました。

- ・定例的な事業は、児童サービス・高齢者サービス・障害者サービス・展示事業などを中止しました。
- ・「子ども読書の日」のイベントや「春の図書館まつり」、「夏の図書館まつり」も中止しました。
- ・令和2年9月以降は、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を考慮し、「3密を避ける」「換気を行う」「消毒を行う」など工夫をして、実施可能な事業を行っていきます。

【令和2年度の図書館施設の修繕について】

- (1) 令和2年4月：坂戸市立中央図書館の網戸の取り付け
…新型コロナウイルス対策として
- (2) 令和2年5月：坂戸市立中央図書館1階トップライト部の漏水の修繕
- (3) 令和2年6月：坂戸市立中央図書館2階男子トイレの修繕



夏のおすすめ本

児童～一般向け



残暑の厳しい日が続いていますが、夏の読書はいかがでしょう。

すでに世界で2, 200万人以上の感染者を出している新型コロナ危機。国際協力の重要性が認識されながらも、世界保健機関（WHO）を中心とする国際保健協力体制には、構造的な問題があるととらえられています。また、「人間の安全保障」や「持続可能な開発目標（SDGs）」の観点から、政治的・社会的課題も議論されています。

1990年代から2000年代に、国連で難民支援の仕事やJICA（国際協力機構）で開発途上国の開発援助の仕事を行ってきた緒方貞子氏の書籍のほか、戦争をテーマとした児童書、ブッカー賞受賞作、AIをテーマとした書籍、データを用いた科学的な知見をテーマとした書籍など、夏のおすすめ本をご紹介します。

「共に生きるということ be humane」

緒方 貞子／著 PHP研究所(一般向け)

国連難民高等弁務官、国際協力機構理事長として人道支援・復興支援の現場で難局を乗り越えてきた緒方貞子が、平和を築く「共存」の哲学、国際社会での日本の役割等を語る。NHK番組「100年インタビュー」をもとに書籍化。



「『きぼう』のつくりかた 国際宇宙ステーションのプロジェクトマネジメント」

長谷川 義幸／著 地人書館(一般向け)

高度400kmの宇宙に実験室を作り、そこに日本人宇宙飛行士を送り込む巨大プロジェクト。その現場で何に苦労したのか。先進国のプロジェクトのやり方をどのように生かしたのか。「ソフト」の部分をもとに具体例をもとに明かす。



「ガラスのうさぎ」 高木 敏子／作 武部 本一郎／画 新版

金の星社(児童～一般向け)

12歳の敏子は、東京大空襲で母と2人の妹を失った。戦争の中を生きぬいた著者が、平和への祈りをこめて少女時代の体験をつづったノンフィクション。戦時用語など語句の解説を増やす。



「ふたりのイーダ」

松谷 みよ子／著 司 修／絵 講談社(児童～一般向け)

「イナイ、イナイ、ドコニモ、イナイ…」 直樹とゆう子の兄妹は、お母さんのいなかの町で、誰かをもとめてコトリ、コトリと歩きまわる小さな木の椅子に出会った…。原爆の悲劇を子どもたちに語りつぐ名作ファンタジー。



「日の名残り」カズオ・イシグロ／著 土屋 政雄／訳 早川書房 (一般向け)

品格ある執事の道を追求し続けてきたステューブンスは、短い旅に出た。美しい田園風景の道すがら様々な思い出がよぎる。長年仕えたダーリントン卿への敬慕、執事の鑑だった亡父、女中頭への淡い想い、二つの大戦の間に邸内で催された重要な外交会議の数々——過ぎ去りし思い出は、輝きを増して胸のなかで生き続ける。失われつつある伝統的な英国を描いて世界中で大きな感動を呼んだ英国最高の文学賞、ブッカー賞受賞作。(背表紙より引用)



「AI 社会の歩き方 人工知能とどう付き合うか」江間 有沙／著 化学同人

(一般向け)

人工知能が社会に浸透するとき、起こる変化とは。「人工知能と社会」というテーマで、どんな人やコミュニティが何を議論しているのか、その舞台裏も含めて整理。楽観論でも悲観論でもない、人工知能との付き合い方を考える。



「シンギュラリティは近い 人類が生命を超越するとき」

レイ・カーツワイル／著 NHK出版／編 [井上 健／監訳]

NHK出版 (一般向け)

フューチャリストとして技術的特異点(シンギュラリティ)の到来をいち早く予見し、現在はAI(人工知能)開発を指揮するレイ・カーツワイルの名著「ポスト・ヒューマン誕生」の主要部分をまとめたエッセンス版。



「AIに負けない『教育』」渡部 信一／著 大修館書店 (一般向け)

「人工知能に負けない能力」とは。そのような能力を身につけるための「教育」とは。人工知能の研究開発における最新の知見をわかりやすく紹介するとともに、これからの教育のあり方について検討する。



「機械学習図鑑 見て試してわかる機械学習アルゴリズムの仕組み」

加藤 公一／監修 秋庭 伸也／共著 杉山 阿聖／共著

寺田 学／共著 翔泳社 (一般向け)

複雑で種類が多い機械学習アルゴリズムの入門書。機械学習を専門としていない人が理解しやすいように、なるべく少ない数式で図を中心に解説する。サンプルプログラムのダウンロードサービスあり。



中室牧子
津川友介

Causal
Inference
in Economics

データから
真実を見抜く
思考法

「データで見ると子どもの学力が下がっている
なぜ間違いないのか?」 世の中にあふれる
「根拠のない通説」
世界中の経済学者がすでに実践し
因果推論法をわかりやすく解説

西内啓

「統計学が最強の学問である」著者
統計学と経済学の最新の知見を凝縮!

原因と結果の 経済学

「『原因と結果』の経済学 データから真実を見抜く思考法」

中室 牧子／著 津川 友介／著 ダイヤモンド社(一般向け)

因果推論を知れば、根拠のない通説にだまされなくなる! 「因果推論」の根底にある考えかたをわかりやすく説明。また、因果推論とデータを用いた経済学の研究結果を紹介し、その解釈=読み解きかたについても解説する。

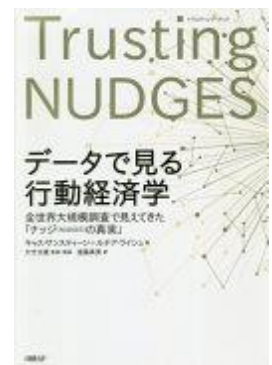
「データで見る行動経済学 全世界大規模調査で見えてきた

「ナッジ(NUDGES)の真実」 キャス サンステーン／著 ルチア

ライシュ／著 大竹 文雄／監修 解説 遠藤 真美／訳 日経BP

日経BPマーケティング (一般向け)

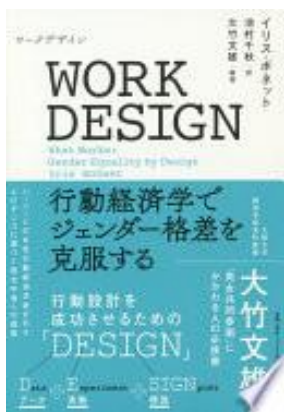
ナッジとは、選択する自由も残しながら、人々を特定の方向に導く介入のこと。どのようにナッジを活用すれば、人々が自身の選択に納得感を持ち、満足できるのか。ナッジを上手に活用していくための基本原則を紹介する。



「WORK DESIGN 行動経済学でジェンダー格差を克服する」

イリス ボネット／著 池村 千秋／訳 NTT 出版 (一般向け)

「慣行とプロセスを変える」「能力を築く」「リスクのある環境のバイアスを緩和する」…。ハーバードの女性行動経済学者が、男女平等を実現するためのステップを、科学的な知見に基づいて解説する。



「女性のいない民主主義」前田 健太郎／著 岩波書店

(一般向け)

政治権力が男性に集中している日本。何が女性を政治から締め出してきたのか。客観性や中立性をうたってきた政治学は、「男性の政治学」に過ぎなかったのではないか。気鋭の政治学者が、男性支配からの脱却を模索する。



※図書館流通センター「新刊全点案内」等より引用